

令和7年度 地域連携推進会議議事録

日 時：令和8年2月27日（金） 14：00～16：00

場 所：共同生活援助事業所ファミリア内

議事録：田村

1. 開会の言葉

① 事業運営への協力・理解のお礼

前田管理者・・・皆様、本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

それでは令和7年度、地域連携推進会議を行います。

当所内では初めて行う会議ですので、何分不慣れな点が多々あるとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

② 地域連携推進会議の趣旨の説明

前田管理者・・・令和4年6月から取りまとめられた「障害者総合支援法改正法3年の見直しについて～社会保障審議会障害者部会 報告書」においては、「居住や生活の場であり、運営が閉鎖的になる恐れのあるサービス類型については、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れることが、事業運営の透明性を高め、一定の質の確保につながるものと考えられ、介護分野の運営推進会議を参考とした仕組みを導入することが有効と考えられる」との指摘がされました。

こうした背景を踏まえ、居住系サービスである障害者支援施設及び共同生活援助において、各事業者で地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催すること及び会議の構成員が事業所を見学する機会を設けること

（それぞれ概ね1年に1回以上）が義務付けられました。

ただ、これを義務だからとして受け止めるのではなく、入居者様がその人らしく安心して暮らすことができるように、この仕組みをうまく活用しながら、施設と地域の連携を推進し、事業運営に活かしていくことが重要となります。

地域と事業所が連携することにより、入居者様と地域の方々との関係づくり、地域の方々への施設等や入居者様に

関する理解の促進、サービスの透明性・質の向上や、入居者様の権利擁護（自己決定や権利行使が困難な方々の尊厳を守り、その人らしい生活を送れるように支援すること）を目的とします。

入居者様の権利擁護のため、地域連携推進会議で知り得た個人情報、外部に漏らすことがないように、格別のご高配をお願い致します。

- ・ご出席のお礼、積極的に意見をいただく旨のお願いなど。
前田管理者にて、説明とお願いの旨を行う。

2.理事長挨拶

藤本理事長・・・理事長の藤本でございます。

いつもお世話になっております。

障がい者の方の地域移行ということで、障害者自立支援法が平成17年から施行された時から、このような話がありました。

あちこちでグループホームが出来ていますが、実態としてどうなのか、地域の方々に認知されていない部分があると思いますので、是非この機会に見ていただいて、意見をお聞かせいただければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。など

出席者様に忌憚のないご意見をお願いする旨を伝える。

3.出席者紹介

入居者様代表 : N 様
入居者家族代表 : 三村様
地域代表 : 八家様
経営に知見がある方 : 宮崎様
赤穂市障害福祉課 : 水野様
緑樹福祉会理事長 : 藤本様
同統括管理者 : 中本様
ファミリア管理者 : 前田
同サービス管理責任者 : 田村

前田管理者の説明のもと、各出席者様が自己紹介を行う。

4. 施設概要説明

施設名 : 共同生活援助ファミリア
所在地 : 678-0255 赤穂市新田 906-1

連絡先 : TEL : 0791-56-6560 FAX : 0791-56-8022

運営法人 : 社会福祉法人 緑樹福社会

設立年 : 令和3年6月

入居者定員 : 7名 (入居者様の年齢、男性 26歳~69歳)

前田管理者にて、説明を行う。

5. 施設やサービスの透明性・質の確保

①入居者様の日常生活の様子

(ファミリアのあゆみについて)

田村・・・当所ファミリアは当時の三村理事長をはじめ、入居者様の保護者の方々、その他大勢の方々のご協力のもと、R3.6月より当時5名の入居者様でスタート致しました。

初めは各入居者様の心身の調整の為、週に一度自宅に外泊されるなどで徐々に当所に慣れてこられました。

その間空いている居室には、体験利用で何度か利用していただく入居者様もおられました。

その中でI様はR4.2月、A様はR4.10月に入られ、定員7名の利用になりました。

残念ながら、スタート当初から入居しておられた方が中々馴染めず、R6.5月に退所されましたが、R6.6月には新たにM様が入居され、再び7名の利用になりました。

食事に関しては基本居間、食堂で摂っていただき、朝食は職員が目玉焼きやオムレツなどをつくり、トマト、レタス、ポタージュスープなどを出し、夕食は「この指とまれ」という近所の給食屋さんとその日の人数分の給食を持ってきていただいて、当所のお皿に移し、刻みが必要な方には刻みをして提供し、見守りが必要な方には横に座って対応し、こまめなお声掛けなどして、和んでいただき、誤嚥などないように、対応しています。

食後の薬に関しても職員がその方が飲み切るまでしっかり確認しています。食後の歯磨きもご自身でできない方には、一緒についていき、介助させていただきます。

入浴に関しては、7人の方々がお一人ずつ入り、見守りが必要な方には、手の届かないところはお手伝いをし、入浴後の皮膚の薬を塗る際は、職員が患部にお薬を塗り、塗り忘れがないように、対応しています。

その際は、おできやかき傷などの異常がないかも確認しております。

どなたも一番風呂になるように、お一人がお風呂から上がった際は、風呂

の湯を抜いて、お風呂洗剤で洗ってから、新しい湯を入れて、次の方の誘導をしています。

トイレに関しては、自立されている方には、個々で用を足していただき、尿意や便意がたまり、トイレに行くタイミングを逃すような方には声掛けをし、介助の必要な方について、おしりふきなどの支援をしています。

余暇に関しては、自宅と変わらない楽しい日々を過ごしていただくことを第一に考え、日曜や祭日には天気の良い日はドライブに出かけたり、月に2回の職員による手作り料理や2カ月に1回のボランティアの方々による音楽療法、今ではヘルパー事業所を利用して市内の食堂にて昼食を摂るなど、楽しまれている入居者様もおられます。

普段の日に関しても、ある入居者様は一昨年赤穂巡業の相撲の観戦をしたり、今年秋には大阪万博に出かけ、またつい最近では中央病院に力士が来所した講演にも参加しました。

また毎週1回歯科受診される方も、ヘルパー利用で受診されています。

催し物としましては、各入居者様の誕生日にご本人を囲んでハッピーバースデーの歌を歌って、みなさんでケーキを食され、記念写真を撮ったり、クリスマスには職員や入居者様が仮装したりで盛り上がったり、今月節分には、みなさんで恵方巻きを食べました。

昨年是一大イベントしまして、緑樹福祉会の利用者様、保護者様、職員合わせて30人以上が集まり、ボランティアの司波多聞氏による音楽会を開催し、みなさん大盛況でした。

今後も機会があれば、地域交流、法人内の交流の為にも、開催したいと思っています。

また散髪に関しては、訪問理容サービス業者が月に一度来所し、各入居者様の散髪を行っており、入居者様からもたいへん好評です。

衛生面に関して、寒い時期になれば、インフルエンザやコロナが流行り感染される入居者様もいらっしゃいますので、その場合は、その方をはじめ他の方々も、入浴やトイレ以外はなるべく居室にいていただき、食事も使い捨ての紙コップ紙皿を使用しています。

預かり金は出納帳に記入し、個々に必要に応じて、本人に渡したり、わかば園請求や病院受診、ヘルパー利用時などに使用しています。

など、上記の説明をサビ管田村が行う。

出席者様からの質問

中本様・・・入浴に関しては1人何分くらい入っていますか？

田村・・・個々の入居者様によっては、お風呂の好き嫌いもあり、統一はしていませんが、10分から15分くらいかと思います。

午後4時30分ごろから1番目の方がスタートし、午後6時に夕食が入りますので、午後7時頃には、7名全員が終了している状態です。

水野様・・・入居者様7名の方は、普段の日中は日中活動を利用されていますか？

前田管理者・・・説明漏れでしたが、普段の日中活動は、入居者様7名全員がわかば園を利用し、生活介護と就労支援B型に分かれて、それぞれ活動されています。

田村・・・午前8時40分頃にわかば園送迎バスが迎えにきて、午後4時15分頃に帰宅します。

水野様・・・帰宅してから直ぐ入浴ですか？

田村・・・帰宅されてからは、リビングに集まっていただき、荷物チェック後に職員が入居者様1～2名ずつ洗面所まで誘導し、手洗いうがい、お茶配布、バイタルチェックの後に、最初の方の入浴になります。

水野様・・・昼食に関しては、どのようになされていますか？

田村・・・昼食に関しては日曜・祭日のお休みには加古川市が本部の、谷口給食という業者を利用しています。

そのうえ、前述の月に2回は職員による手作り料理を行っています。

三村様・・・ファミリアは日中包括型ですので、基本普段の日は日中活動場で昼食をとっています。

水野様・・・体調不良の方がでた場合はどうされていますか？

田村・・・その場合は提携している内科（渡辺医院様）に連絡し、私が付き添いをし、受診後はファミリア内で私が見守りをし、必要な方にはトイレ、食事介助、検温し、個々の居室で安静にさせていただいています。

水野様・・・定期的に健診はされていますか？

三村様・・・わかば園で半年に一度、健診しています。

水野様・・・インフルエンザなどの予防接種はどうなっていますか？

田村・・・予防接種に関しては、個々の保護者様の意向（アナフィラキシー症状などの問題）もあり、受けたい方だけ、個々に予約をして行っています。など

出席者様から様々な質問があり、回答する。

・経営状況の報告

令和6年度決算報告書

詳しい数字などは差し控えるが、発足当初から黒字であることなどの報告。

前田管理者にて、報告を行う。

②施設と地域の連携

・障害についてのレクチャー

地域の方々（八家自治会長様など）普段から障がい者の方々との交流や知識があまりない方々に、障害についての説明（定義）などの説明。

前田管理者にて説明を行う。

・近隣からの苦情などの共有

前田管理者・・・近隣住民の方々からファミリアに関して、何か苦情やクレームなどの報告はありますか？

八家様・・・今現在、近隣住民の方々からそのような苦情やクレームなどは聞いていません。

・地域行事のご案内

八家自治会長様のご意見

八家様・・・今年も地元の行事（祭りや草刈りなど）があるため、是非とも、参加してほしいです。など

③入居者様の権利擁護

・虐待、事故報告、ヒヤリハットの報告

事故報告、ヒヤリハットなど出ている書類を、サビ管田村にて報告する。

事故報告書・・・近々の事案としては、入居者様の食後の薬をわかば園職員に渡し忘れたことや、声掛け事案で、入居者様を入浴誘導時に入居者様が拒否したため、ある職員が「もう入らなくても良い。」など軽弾みな声掛けをしてしまった件など。

ヒヤリハット・・・事案としては、入居者様の着替えカバンをわかば園職員に渡しわすれたことや、入浴場のイスに座る際に入居者様が尻もちをついたが、怪我はなかったことを確認した件など。

ヒヤリハットは起きる前に防ぐことができたことや気付いたことを書かないといけないはずであるが、起きてしまったことの事案などもヒヤリハットに記入しているため、事故報告書とヒヤリハットの区別、境界を職員にも分かりやすく説明する必要があるとの意見が出る。

上記の報告をサビ管田村から行う。

尚、昨年 12 月に職員 A が入居者様のトイレの介助中に耳を引っ張ったとの事案を職員 B から報告があり、管理者、サビ管にて職員 A に聞き取りをしたところ、本人は覚えていないとの回答であった。

防犯カメラにて、その日時であろう時間帯の様子を再生したが、カメラの死角になっており確認できず。

疑わしき事案のため、早急に行政に事案の報告をする。

そこで行政から、その職員 A をはじめ、他の職員からも最近の支援の様子の聞き取りを行うよう指示が出る。

ここ 2 ヶ月ほどの間に聞き取りを行い、ある職員からは「そのような言動や行動をしていないが、声掛け時につい声が大きくなったり、高くなったりして他者が聞くとびっくりするかもしれない声を出してしまう時がある」ことや、また別の職員からは、「職員 A が入浴の誘導時に入居者様が拒否をし、【もう入らなくても良い。】などの軽率な言動を言っていた。」などの意見が出ていた。

このことについても、行政に報告する。

ここ 2 ヶ月間の職員 A の言動や行動などをかんがみて、改善の兆候も見込まれないため、3 月中旬に退職していただく予定である。

その旨を職員 A に伝えるべく、再度話し合いの場を持つ。

職員 A いわく、辞職することに不満はなく、むしろ辞職したかったとのこと。

そのうえで、職員 A からは、「自分は高齢者の介護の経験があり、障害者支援とはか

なり違いがあった。特に保護者様に関しても、高齢者の家族様は職員に対してすごく感謝をしてくださったが、当所の保護者様は職員に対して非常に希望が多く、その希望に応えるのが難しかった。」などと話していた。など
以上、上記のことを、前田管理者にて報告を行う。

出席者様から職員 A に関して、退職についての異論はなかった。

三村様・・・このようなことが起きてたいへん悲しいし、残念に思います。
今後このようなことが起こらないように、職員のみなさんと再度共有し活かしていただきたいと思います。

他の出席者様からも同様の意見がでる。

・職員の状況

職員数 : 13 名

有資格者: 介護福祉士 5 名、初任者研修修了者 3 名、准看護師者 1 名

経験年数: 1 名あたりの平均実務年数約 3 年

夜間体制: 2 名

前田管理者から報告する。

・入居者様からの意見

N 様・・・大相撲や大阪万博にも出かけたので、今後も行きたいところがあれば、
どんどん出かけた。

これまで同様、楽しく健康で過ごしたい。など

6.意見交換

・訪問した際に受けた印象や気付いた点

出席者様からの意見

水野様・・・個々の居室の一人一人の個性が出て、たいへん良い。

誕生日の日はその誕生日の本人に食べたいケーキを確認し、提供することは大変良い。など

八家様・・・入浴も一人ずつ入り、一人が上がるとお湯を抜き、洗剤で洗い流してから新たにお湯を入れることは、ご本人にとってはもちろん、衛生

面にもたいへん良いことである。

- ・施設の運営上の工夫や改善点についての意見交換
出席者様からの意見

三村様・・・地元の行事に参加するのは、もちろんだが普段から地元のコンビニなどを利用し、普段から地元の人々とお会いする機会を増やすことが良いのではないか。

三村様・・・もっとヒヤリハットがどんどん出し、危険予知がもっとできる職場になれば良いのではないか。

宮崎様・・・また、顛末書などしっかりかき、その場で職員回覧するだけでなく、同じ事故などが無いよう、次に繋げるようにすれば良いのではないか。

三村様・・・ファミリアに入居している入居者様は、どのご家族も入居者様をたいへん大切に思っているので、是非今後とも、職員の方々には愛情をもって、お一人お一人と接していただきたい。

中本様・・・中西様は自宅で生活時は前述の大相撲観戦や大阪万博一日旅行など行く機会が、中々なかったと思うので、今後もご本人をはじめ、他の入居者様にもどんどんそのような機会を提供してはどうでしょうか。など

出席者様から多数のご意見を頂戴する。

